

第16期第4回 砂防公開講座実施報告

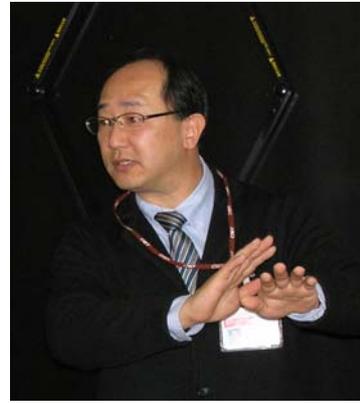
「自然に配慮した砂防施設」

平成25年2月13日(水)第4回砂防公開講座を実施しました。 ～参加者22名～



開講の辞
齊藤 泉
利根川水系砂防事務所
副所長

第4回公開講座のテーマ「自然に配慮した砂防施設」は、防災施設と環境を考える機会としました。



講師
安田 陽一
日本大学理工学部
土木工学科教授

「砂防施設周辺の水生生物の生息・移動を技術者はどう考えるのか」



講義風景



野栗沢砂防
堰堤 魚道

講義:川とのつながりを意識しないと魚道を作っても意味がない。石を置くことにより水位が上がり水面差が改善。技術的な考え方での石の置き方が重要。導流壁を設置し気泡の混入を防ぐことで魚道からの流れが邪魔されない。
野栗沢魚道設置:水位が高くなっても水が堰堤を乗り越えないように、土砂が貯まらないように間口を狭く、魚が飽きないように休めるようになっている。
Q:勾配は流量から決まるのか。 A:高さが高い堰堤の為速やかに魚が上げられるよう緩やかにしている。



栢ヶ舞地区アンカー工工事現場

利根川水系砂防事務所 志村和弘建設監督官より概要説明
地すべり対策工には、抑止工と抑制工があり、アンカー工は抑止工です。3つの大きな地すべりブロックがあり、その中にさらに小さな4つの地すべりブロックがあります。今回その小ブロックにおけるアンカー工を施工しています。

アンケート結果

- ・自然は生きている環境が大事。私の未知の世界があり勉強になりました。
- ・土木工学の専門家として、論理的な話が聞けました。
- ・アンカー工についても先端技術の素晴らしさを感じました。
- ・これからも論理的な話が聞ける講座が望ましい充実した講座でした。
- ・川は高さより低きに流れれば良いと思っていましたが、流し方により環境に大きな影響を与えることを知りました。
- ・アンカー工では埋設する部品まで見て良く理解できました。
- ・安田先生の講義が非常に解りやすく良かった。
- ・魚が登る条件について色々を知ることができました。アンカー工の施工を見ることができて良かったです。
- ・説明も分かりやすくとても有意義な講座だったと思います。
- ・魚道の説明が良かった。